

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
271	J Immunology	TNF- α Drives Human CD14 ⁺ Monocytes to Differentiate into CD70 ⁺ Dendritic Cells Evoking Th1 and Th17 Responses	Iwamoto S	泌尿器科
272	臨床泌尿器科	精索静脈瘤手術—高位結紮術および顕微鏡下低位結紮術—	坂本 英雄	泌尿器科
273	Human Gene Therapy	Long-Term Outcome of Phase I / II Clinical Trial of Ad-OC-TK/VAL Gene Therapy for Hormone-Refractory Metastatic Prostate Cancer	Shirakawa T	泌尿器科
274	日本臨牀	前立腺癌 —基礎・臨床研究のアップデート— II. 臨床研究 治療 その他の治療および治療関係諸問題 ビスホスホネート療法	深貝 隆志	泌尿器科
275	泌尿器科外科	大豆と日本人と前立腺癌	直江 道夫	泌尿器科
276	south med J	Rprevention of Adverse Effects of BCG Immunotherapy in Bladder Cancer	Naoe M	泌尿器科
277	south med J	Use of the CellSerch Assay for Monitoring Urothelial Cancer: Two Case Reports of Metastatic Urothelial Cancer	Naoe M	泌尿器科
278	Urology	Relationship Between Testicular Volume and Varicocele in Patients With Infertility	Sakamoto H	泌尿器科
279	Urology	Effects of Varicocele Repair in Aduluts on Ultrasonographically Determined Testicular Volume and on Semen Profile	Sakamoto H	泌尿器科
280	Asian J Androl	Relationship between testicular volume and testicular function: comparison of the Prader orchidometric and ultrasonographic measurements in patients with infertility	Sakamoto H	泌尿器科
281	Int J Urol	Cystic fibrosis transmembrane conductance regulator (CFTR) gene mutation associated with a congenital bilateral absence of vas deferens	Sakamoto H	泌尿器科
282	Am J Kidney Dis	Minimodeling reduces the rate of cortical bone loss in patients with secondary hyperparathyroidism	Yajima A	泌尿器科
283	Nephrol Dial Transplant	Significance of time-course changes of serum bone markers after parathyroidectomy in patients with uremic hyperparathyroidism.	Yajima A	泌尿器科
284	耳鼻臨床	急性喉頭蓋炎50例の臨床的検討	海山 智九	耳鼻咽喉科
285	日職災誌	頭部外傷後、遅発性に様々な機能障害を呈した例	野垣 岳稔	耳鼻咽喉科
286	耳鼻臨床	経過観察した聴神経腫瘍症例の検討	野垣 岳稔	耳鼻咽喉科
287	川崎市医師会誌	急性喉頭蓋炎の入院症例について	寶地 信介	耳鼻咽喉科
288	日気食会報	急性喉頭蓋炎の臨床的検討	寶地 信介	耳鼻咽喉科

小計 18件

(注意)1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
289	日鼻誌	スギ花粉症における第2世代抗ヒスタミン薬の臨床効果—多施設、3ヵ年による初期治療と発症後治療の検討	藤枝 重治	耳鼻咽喉科
290	第24回頭頸部自律神経研究会記録集	鼻茸上皮細胞におけるToll-like receptorを介する細胞外マトリックス分解酵素の産生について	渡邊 荘	耳鼻咽喉科
291	日耳鼻	突発性難聴に対する副腎皮質ホルモン・高圧酸素療法併用療法の治療成績	川俣 光	耳鼻咽喉科
292	Showa Univ J Med Sci	Theaflavin-3, 3'-digallate inhibits tube formation in cocultured endothelial cells with fibroblasts	Kobayasi S	耳鼻咽喉科
293	日鼻誌	炎症細胞浸潤の観点から検討した慢性副鼻腔炎の病態	古田 厚子	耳鼻咽喉科
294	Clin Immunol	Involvement of Toll-like receptors in the immune response of nasal polyp epithelial cells	Wang J	耳鼻咽喉科
295	J Pharm Pharmacol	Suppressive activity of fexofenadine hydrochloride on nitric oxide production in-vitro and in-vivo	Asano K	耳鼻咽喉科
296	in vivo	Changes of glucocorticoid receptor expression in the nasal polyps of patients with chronic sinusitis following treatment with glucocorticoid	Watanabe S	耳鼻咽喉科
297	in vivo	Suppressive activity of epinastine hydrochloride on eosinophil activation in vitro	Mochizuki Y	耳鼻咽喉科
298	Neurosci Res	Increased mitochondrial DNA oxidative damage after transient middle cerebral artery occlusion in mice	Dohi K	救急医学科
299	Showa Univ J Med Sci	Effect of Tap Water, Orange Juice and Milk on Surface Temperature and pH of Deoxygenates and Desiccants in Artificial Stomach Fluid	Aruga T	救急医学科
300	13th European Congress of Neurosurgery	A Multi-Center Comparative Study of Glasgow Coma Scale and Emergency Coma Scale-intermediate Report	Aruga T	救急医学科
301	日本旅行医学会学会誌	都市型災害と災害医療	山本 武史	救急医学科
302	神経外傷	「頭部外傷に伴う低髄液圧症候群」に関するアンケート調査結果について	土肥 謙二	救急医学科
303	Regul Pept	C S F orexin- A /hypocretin-1 concentrations in patients with intracerebral hemorrhage (I C H)	Dohi K	救急医学科
304	13th European Congress of Neurosurgery	Emergency Coma Scale-A Basic Concept of New Coma Scale For Consciousness Disturbance	Aruga T	救急医学科
305	Neurosurg Emerg	優れたComa Scaleとは？JCS, ECSの比較研究 -第一報-	有賀 徹	救急医学科
306	PEPTIDES	Pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) type 1 receptor (PAC1R) co-localizes with activity-dependent neuroprotective protein (A D N P) in the mouse brains	Dohi K	救急医学科

小計 18件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
307	PEPTIDES	C S F orexin-A/hypocretin-1 concentrations in patients with intracerebral hemorrhage (I C H)	Dohi K	救急医学科
308	日本神経救急学会雑誌	頸静脈孔症候群を生じた頭蓋底骨折の1例	中村 俊介	救急医学科
309	Ultrasound Obatet Gynecol	Application of high-intensity focused ultrasound for umbilical artery in a rabbit model	Ichizuka K	病院病理科
310	Showa Univ J Med Sci	In situ hybridization (ISH) analysis for human papillomavirus(HPV) infection in Bowen's disease, Bowen carcinoma and Bowenoid papulosis of the skin	Hamada K	病院病理科
311	Showa Univ J Med Sci	Localization of human papillomavirus-DNA in cervical adenocarcinoma revealed by in situ hybridization	Kushima M	病院病理科
312	Hepatology Research	Intrahepatic status of regulatory T cells in autoimmune liver diseases and chronic viral hepatitis	Sasaki M	病院病理科
313	Pathol Int	Immunohistochemical analysis of nestin and c-kit and their significance in pancreatic tumors	Ohike N	病院病理科
314	診断病理	胃MALTリンパ腫の組織学的治療効果判定に関する検討	野呂 瀬朋子	病院病理科
315	昭和医学会雑誌	多発性骨髄腫における血管新生とCOX-2発現の免疫組織学的検討	下間 順子	病院病理科
316	J Antimicrob Chemother	Linezolid versus vancomycin for the treatment of infections by methicillin-resistant Staphylococcus aureus in Japan	Kohno S	臨床感染症学
317	Respiration	Evaluating the use of a Streptococcus pneumoniae urinary antigen detection kit for the management of community-acquired pneumonia in Japan.	Kobashi Y	臨床感染症学
318	日化療会誌	慢性閉塞性肺疾患症例の急性増悪に対するニューキノロン系抗菌薬とβ-ラクタム系抗菌薬の有用性	東山 康仁	臨床感染症学
319	日化療会誌	小児細菌感染症に対するceftriaxone 1日1回投与に関するアンケート調査	岩田 敏	臨床感染症学
320	日化療会誌	Garenoxacinとtheophyllineとの併用試験	二木 芳人	臨床感染症学

小計 14件

合計 320件

(注意)1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 飯島 正文
管理担当者氏名	管理課 阿久津 直利

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院日誌は管理課、それ以外は診療録管理室に保管	病院日誌は各年度ごとに保管。それ以外は1患者1ファイル及び1ジャケットまたは、1入院1診療録単位に診療記録をファイリングし、外来、入院、X線写真を区分して保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課に保管	
	高度の医療の提供の実績	管理課に保管	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課に保管	
	高度の医療の研修の実績	管理課に保管	
	閲覧実績	診療録管理室に保管	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携室に保管	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部に保管	
確規保則の第9条の2及び第1条の1各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	管理課に保管	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	環境整備センターに保管	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	管理課に保管	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	管理課に保管	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	管理課に保管	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	管理課に保管	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	管理課に保管	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	管理課に保管	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	平成19年4月1日策定：各診療科、部門、病棟、外来、検査室の院内感染防止対策基本マニュアル内に保管
		院内感染対策のための委員会の開催状況	月1回定例会開催：議事録、出席状況は環境整備センターに保管
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年8回実施：資料、出席状況は環境整備センターに保管
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染防止対策委員会にて毎月報告。ICTが調査、介入したものを含む。 環境整備センターに保管
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	管理課に保管 薬剤部に保管 (医薬品安全管理責任者)
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	管理課に保管 薬剤部に保管 (医薬品安全管理責任者)
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	管理課に保管 薬剤部に保管 (医薬品安全管理責任者)
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	管理課に保管 薬剤部に保管 (医薬品安全管理責任者)
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	管理課に保管 放射線部に保管 (医療機器安全管理責任者)
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	管理課に保管 放射線部に保管 (研修会を年4回実施)
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	管理課に保管 放射線部に保管 重要7品目について策定し実施している	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	管理課に保管 放射線部に保管 (各メーカー及びPmdaから情報を収集し、当該機器は改修し、安全ニュースを発行)	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 飯島 正文
閲覧担当者氏名	診療情報管理士 鎌倉 由香
閲覧の求めに応じる場所	診療録管理室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	4件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	1件
	地方公共団体	延	3件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	53.0%	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		12,652人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		7,074人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		6,327人
	D: 初診の患者の数		42,081人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3 名)
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名)
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
・ 所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (9) 名 ・ 活動の主な内容： 1) 医療安全対策の推進に関すること。 2) 医療事故に関する報告窓口業務。 3) 医療事故に関する初期情報収集と対応。 4) 医療事故等の原因究明と必要な指導を行うこと。 5) 医療安全管理について職員への教育及び周知徹底業務。 6) 医療安全管理・対策委員会の議事録に関する業務。 7) 訴訟に関する業務。 8) 当該事故関係医療従事者を支援すること。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
・ 指針の主な内容：別添 1	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容：医療事故等の防止・安全管理体制の確保	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 回
4月26日：テーマ「テーマ別分科会報告会」参加者776名 5月29日：テーマ「日本の医療安全文化の実情と課題」参加者700名 7月 2日：テーマ「医療ガス保安講習会」 テーマ「医薬品の安全使用のための業務に関する手順書について」参加者541名 10月 3日：テーマ「医療機関における個人情報保護とプライバシー保護」参加者602名 11月21日：テーマ「苦情対応、医療従事者の味方になってくれる法律」参加者812名 1月22日：テーマ「多剤耐性菌について」参加者775名 2月21日：テーマ「多剤耐性菌について」参加者113名 ※ (1月22日と同内容) 3月14日：テーマ「輸液ポンプの安全な使い方について」参加者297名	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： インシデント事例は、テーマ別分科会において横断的に編成された分科会委員 (各部署リスクマネージャーがテーマ別分科会で検討された分析・改善策について、MRM委員会へ報告する。MRM委員会で報告に基づいて医療事故の防止対策業務改善の検討及び推進を図る。 アクシデントについては、医療安全・管理対策委員会において問題点の分析と対応及び改善策を検討する。問題点の分析及び改善策は、各種委員会で報告する。	